

水 質 検 査 結 果 書

(水質管理目標設定項目)

東海技水第 25140502-001 号

令和 7 年 5 月 2 日

国土交通省・環境省登録検査機関 第149号
建築物飲料水水質検査業愛知県56水第13号

一般財団法人 東海技術センター

理事長 平井 修司

名古屋市名東区猪子石二丁目710番地

TEL (052) 771-5161 (代) 〒465-0021

常滑市水道事業 常滑市長 伊藤 辰矢 様

令和 7 年 4 月 21 日 ご依頼のありました下記の検体に対する検査結果は次のとおりです。

検 体 種 類		給水栓水		採 水 者		環境計測・環境分析事業部 金子、岡野			受付方法		出張採取	
採水年月日		令和 7 年 4 月 21 日		採水時刻		11:55	天候	晴	気温	22.3 ℃	水温	16.7 ℃
採 水 地 点		多屋（新浜中央公園）										
その他 （特記事項）		遊離残留塩素：0.61 mg/L										
検査項目		単位	検査結果	目標値		検査項目		単位	検査結果	目標値		
目1	アンチモン及びその化合物	mg/L	---	0.02 mg/L以下		目29	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	---	0.1 mg/L以下		
目2	ウラン及びその化合物	mg/L	---	0.002 mg/L以下 （暫）		目30	アルミニウム及びその化合物	mg/L	---	0.1 mg/L以下		
目3	ニッケル及びその化合物	mg/L	---	0.02 mg/L以下		目31	ヘキサフルオロオクタンスルホン酸（PFOS） 及びヘキサフルオロオクタン酸（PFOA）	mg/L	0.000005未満	0.00005 mg/L以下 （暫）		
目4	削 除（欠番）						（以下余白）					
目5	1,2-ジクロロエタン	mg/L	---	0.004 mg/L以下								
目6	削 除（欠番）											
目7	削 除（欠番）											
目8	トルエン	mg/L	---	0.4 mg/L以下								
目9	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	mg/L	---	0.08 mg/L以下								
目10	亜塩素酸	mg/L	---	0.6 mg/L以下								
目11	削 除（欠番）											
目12	二酸化塩素	mg/L	---	0.6 mg/L以下								
目13	ジクロロアセトニトリル	mg/L	---	0.01 mg/L以下 （暫）								
目14	抱水クロラール	mg/L	---	0.02 mg/L以下 （暫）								
目15	農薬類	—	---	検出値と目標値の比 の和として、1以下								
目16	残留塩素	—	---	1 mg/L以下								
目17	カルシウム、マグネシウム 等（硬度）	mg/L	---	10mg/L以上 100mg/L以下								
目18	マンガン及びその化合物	mg/L	---	0.01 mg/L以下								
目19	遊離炭酸	mg/L	---	20 mg/L以下								
目20	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	---	0.3 mg/L以下								
目21	メチル tert-ブチルエーテル	mg/L	---	0.02 mg/L以下								
目22	有機物等（過マンガン酸 カリウム消費量）	mg/L	---	3 mg/L以下								
目23	臭気強度（TON）	—	---	3 以下								
目24	蒸発残留物	mg/L	---	30mg/L以上 200mg/L以下								
目25	濁度	度	---	1 度以下								
目26	pH値	—	---	7.5 程度								
目27	腐食性（ランゲリア指数）	—	---	-1程度以上とし、 極力0に近づける								
目28	従属栄養細菌	CFU/mL	---	1mLの集落数が 2,000以下（暫）								
備 考		「—」は検査を実施していないことを示す。 「ヘキサフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びヘキサフルオロオクタン酸（PFOA）」（合算値）の内訳値…「PFOS」：0.000005mg/L未満、「PFOA」：0.000005mg/L未満 なお、「PFOS」、「PFOA」及び「PFOS及びPFOAの合算値」の濃度は下記の手順で算出し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」それぞれの定量値は、算出した値が定量下限値（0.000005mg/L）以上の場合は有効数字3桁目を四捨五入し上記内訳値として記載した。 ・合算は、算出した値（いずれかの値が定量下限値（0.000005mg/L）未満の場合は「0」とする）を合計し、定量下限値（0.000005mg/L）以上の値については有効数字3桁目を四捨五入し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」または「PFOS及びPFOAの合算値」とともに有効桁はそれぞれの定量下限値の桁までとした。										
水質検査方法		水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について（平成15年10月10日健発第1010001号）による。										
検 査 期 日		令和 7 年 4 月 21 日 ～ 令和 7 年 5 月 2 日				検査責任者		水質検査部門管理者		土 屋 忍		

水 質 検 査 結 果 書

(水質管理目標設定項目)

東海技水第 25140502-002 号

令和 7 年 5 月 2 日

国土交通省・環境省登録検査機関 第149号
建築物飲料水水質検査業愛知県56水第13号

一般財団法人 東海技術センター
理事長 平井 修司

名古屋市中東区猪子石二丁目710番地
TEL(052)774-5161(代) 〒465-0021

常滑市水道事業 常滑市長 伊藤 辰矢 様

令和 7 年 4 月 21 日 ご依頼のありました下記の検体に対する検査結果は次のとおりです。

検 体 種 類		給水栓水		採 水 者		環境計測・環境分析事業部 金子、岡野			受付方法		出張採取	
採水年月日		令和 7 年 4 月 21 日		採水時刻		13:30	天候	晴	気温	26.4 ℃	水温	17.5 ℃
採 水 地 点		セントレア（消防署空港出張所）										
その他 （特記事項）		遊離残留塩素：0.54 mg/L										
検査項目		単位	検査結果	目標値	検査項目		単位	検査結果	目標値			
目1	アンチモン及びその化合物	mg/L	---	0.02 mg/L以下	目29	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	---	0.1 mg/L以下			
目2	ウラン及びその化合物	mg/L	---	0.002 mg/L以下 （暫）	目30	アルミニウム及びその化合物	mg/L	---	0.1 mg/L以下			
目3	ニッケル及びその化合物	mg/L	---	0.02 mg/L以下	目31	ヘキサフルオロオクタンスリン酸（PFOS） 及びヘキサフルオロオクタン酸（PFOA）	mg/L	0.000005未満	0.00005	mg/L以下 （暫）		
目4	削 除（欠番）					（以下余白）						
目5	1,2-ジクロロエタン	mg/L	---	0.004 mg/L以下								
目6	削 除（欠番）											
目7	削 除（欠番）											
目8	トルエン	mg/L	---	0.4 mg/L以下								
目9	フタル酸ジ（2-エチルヘキシル）	mg/L	---	0.08 mg/L以下								
目10	亜塩素酸	mg/L	---	0.6 mg/L以下								
目11	削 除（欠番）											
目12	二酸化塩素	mg/L	---	0.6 mg/L以下								
目13	ジクロロアセトニトリル	mg/L	---	0.01 mg/L以下 （暫）								
目14	抱水クロラール	mg/L	---	0.02 mg/L以下 （暫）								
目15	農薬類	—	---	検出値と目標値の比 の和として、1以下								
目16	残留塩素	—	---	1 mg/L以下								
目17	カルシウム、マグネシウム 等（硬度）	mg/L	---	10mg/L以上 100mg/L以下								
目18	マンガン及びその化合物	mg/L	---	0.01 mg/L以下								
目19	遊離炭酸	mg/L	---	20 mg/L以下								
目20	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	---	0.3 mg/L以下								
目21	メチルtertブチルエーテル	mg/L	---	0.02 mg/L以下								
目22	有機物等（過マンガン酸 カリウム消費量）	mg/L	---	3 mg/L以下								
目23	臭気強度（TON）	—	---	3 以下								
目24	蒸発残留物	mg/L	---	30mg/L以上 200mg/L以下								
目25	濁度	度	---	1 度以下								
目26	pH値	—	---	7.5 程度								
目27	腐食性（ランゲリア指数）	—	---	-1程度以上とし、 極力0に近づける								
目28	従属栄養細菌	CFU/mL	---	1mLの集落数が 2,000以下（暫）								
備 考		「—」は検査を実施していないことを示す。 「ヘキサフルオロオクタンスリン酸（PFOS）及びヘキサフルオロオクタン酸（PFOA）」（合算値）の内訳値…「PFOS」：0.000005mg/L未満、「PFOA」：0.000005mg/L未満 なお、「PFOS」、「PFOA」及び「PFOS及びPFOAの合算値」の濃度は下記の手順で算出し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」それぞれの定量値は、算出した値が定量下限値（0.000005mg/L）以上の場合は有効数字3桁目を四捨五入し上記内訳 値として記載した。 ・合算は、算出した値（いずれかの値が定量下限値（0.000005mg/L）未満の場合は「0」とする）を合計し、定量下限値（0.000005mg/L） 以上の値については有効数字3桁目を四捨五入し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」または「PFOS及びPFOAの合算値」とともに有効桁はそれぞれの定量下限値の桁までとした。										
水質検査方法		水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について （平成15年10月10日健発第1010001号）による。										
検 査 期 日		令和 7 年 4 月 21 日 ～ 令和 7 年 5 月 2 日			検査責任者		水質検査部門管理者		土 屋 忍			

水 質 検 査 結 果 書

(水質管理目標設定項目)

東海技水第 25140502-003 号

令和 7 年 5 月 2 日

国土交通省（環境省登録検査機関 第149号
建築物飲料水水質検査業愛知県56水第13号

一般財団法人 東海技術センター

理事長 平井 修司

名古屋市名東区猪子石二丁目710番地

TEL(052)771-5161(代) 〒465-0021

常滑市水道事業 常滑市長 伊藤 辰矢 様

令和 7 年 4 月 21 日 ご依頼のありました下記の検体に対する検査結果は次のとおりです。

検 体 種 類		給水栓水		採 水 者		環境計測・環境分析事業部 金子、岡野			受付方法		出張採取					
採 水 年 月 日		令和 7 年 4 月 21 日		採水時刻		12:55		天候		晴		気温	23.9 ℃	水温	18.4 ℃	
採 水 地 点		坂井（憩の家）														
その他 (特記事項)		遊離残留塩素：0.35 mg/L														
検査項目			単位	検査結果		目標値		検査項目			単位	検査結果		目標値		
目1	アンチモン及びその化合物		mg/L	――		0.02 mg/L以下		目29	1,1-ジクロロエチレン			mg/L	――		0.1 mg/L以下	
目2	ウラン及びその化合物		mg/L	――		0.002 mg/L以下 (暫)		目30	アルミニウム及びその化合物			mg/L	――		0.1 mg/L以下	
目3	ニッケル及びその化合物		mg/L	――		0.02 mg/L以下		目31	ヘ ルフルオオクタンスルホン酸(PFOS) 及びヘ ルフルオオクタン酸(PFOA)			mg/L	0.000005未満		0.00005 mg/L以下 (暫)	
目4	削 除 (欠番)							(以下余白)								
目5	1,2-ジクロロエタン		mg/L	――		0.004 mg/L以下										
目6	削 除 (欠番)															
目7	削 除 (欠番)															
目8	トルエン		mg/L	――		0.4 mg/L以下										
目9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)		mg/L	――		0.08 mg/L以下										
目10	亜塩素酸		mg/L	――		0.6 mg/L以下										
目11	削 除 (欠番)															
目12	二酸化塩素		mg/L	――		0.6 mg/L以下										
目13	ジクロロアセトニトリル		mg/L	――		0.01 mg/L以下 (暫)										
目14	抱水クロラール		mg/L	――		0.02 mg/L以下 (暫)										
目15	農薬類		――	――		検出値と目標値の比 の和として、1以下										
目16	残留塩素		――	――		1 mg/L以下										
目17	カルシウム、マグネシウム 等 (硬度)		mg/L	――		10mg/L以上 100mg/L以下										
目18	マンガン及びその化合物		mg/L	――		0.01 mg/L以下										
目19	遊離炭酸		mg/L	――		20 mg/L以下										
目20	1,1,1-トリクロロエタン		mg/L	――		0.3 mg/L以下										
目21	メチルtertブチルエーテル		mg/L	――		0.02 mg/L以下										
目22	有機物等 (過マンガン酸 カリウム消費量)		mg/L	――		3 mg/L以下										
目23	臭気強度 (TON)		――	――		3 以下										
目24	蒸発残留物		mg/L	――		30mg/L以上 200mg/L以下										
目25	濁度		度	――		1 度以下										
目26	pH値		――	――		7.5 程度										
目27	腐食性(ランゲリア指数)		――	――		-1程度以上とし、 極力0に近づける										
目28	従属栄養細菌		CFU/mL	――		1mLの集落数が 2,000以下 (暫)										
備 考			「――」は検査を実施していないことを示す。 「ヘ ルフルオオクタンスルホン酸(PFOS)及びヘ ルフルオオクタン酸(PFOA)」(合算値)の内訳値…「PFOS」：0.000005mg/L未満、「PFOA」：0.000005mg/L未満 なお、「PFOS」、「PFOA」及び「PFOS及びPFOAの合算値」の濃度は下記の手順で算出し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」それぞれの定量値は、算出した値が定量下限値(0.000005mg/L)以上の場合は有効数字3桁目を四捨五入し上記内訳 値として記載した。 ・合算は、算出した値(いずれかの値が定量下限値(0.000005mg/L)未満の場合は「0」とする)を合計し、定量下限値(0.000005mg/L) 以上の値については有効数字3桁目を四捨五入し報告値とした。 ・「PFOS」、「PFOA」または「PFOS及びPFOAの合算値」ともに有効桁はそれぞれの定量下限値の桁までとした。													
水質検査方法			水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等並びに水道水質管理における留意事項について (平成15年10月10日健発第1010001号)による。													
検 査 期 日			令和 7 年 4 月 21 日 ～ 令和 7 年 5 月 2 日				検査責任者		水質検査部門管理者 土 屋 忍 印							